

## 「水没した地域」

私のおばあちゃんや吉野に住んでいます。川上村には、大滝ダムがあります。お母さんが学んだ中学校・高校の校舎はないそうです。中学校は違う場所に新しく建てられ、高校があつた場所には小学校が建てられています。ダムを作るためには、色々な問題がありました。ダムの底にしないで済む地域の人達への説明・理解・住む家の問題、一つ一つ決めていかねばなりません。何度も何度も話し合いをもち、やっと理解を得られダム建設にこぎつけたそうです。中には村を出て行く人もいました。新しい場所に家を建て今も住んでいる人もいます。何年もかけて建設されて来た大滝ダムが完成しました。

## 王寺町立王寺中学校 一年

岩切 紗香

「一度ためしにダムに水をためよう。」  
と言うことになり水をためました。  
しかし、そこでまた問題が発生したそうです。それは、他の地域にヒビ割れや地すべりの危険がでてきました。すぐに水をためるのをやめ、専門家の人や関係者の方達の調査をはじめました。建設する前にも何度もなく調査をしてきたはずだと思うけど、なぜそんな事がおこるのだろうか？その地域の人は、ダムの底にせずまなもののヒビ割れや地すべりの危険があるため結局そこに住めなくなり、新しい場所に家を建て住むことになりました。この事は以前大きくニュースや新聞でも取り上げられました。  
私達が生活していく上でかかせない水、大切な資源を有効に活用出来るように建設され

たダムですが、昔から住んでいた家を手ばな  
さなければいけない地域の人はつらいもの  
があつただろうと思います。一つのダムを建  
設するのにもさまざまな問題を解決し、地域  
の人達の理解・他の地域への影響などがない  
のか色々な事を考えていかなければいけないと  
思いました。

おばあちゃんの家はダムの底にすぎず、  
そのままあります。日本には他にもダムがた  
くさんあります。この話を聞いて、他の所で  
もやっぱり水没した村や地域があるのだろう  
なあと思いました。

私はお母さんから、  
「水を出しっぱなしにせず止めなさい。」  
とよく言われます。考えてみると、普段なに  
気なく使つてる水も無駄使いをしている時が  
あります。

世界には、水にこまっている人達もたくさ  
んいます。自分に何が出来るかわからないけ  
れど、身近な所から水を大切に使うって  
思います。